

## 記者発表資料

# 施工段階(完成時)を反映した統合モデル公開！ BIM/CIMデータ公開(第7弾)

当事務所は、i-Construction 取組をリードするモデル事務所として、建設関連業者等における3次元データ利活用の振興を図ることを目的に、当事業のBIM/CIM データを公開しています。

この度、荒川第二調節池の工事用道路等の整備工事、地盤改良工事および荒川右岸堤(対岸堤)の嵩上げ工事について施工後の3次元データが完成したので、統合モデルに反映しました。

今後も、計画・設計、施工の各段階の3次元データの統合モデルの更新・公開を行ってまいります。

公開サイト : [https://www.ktr.mlit.go.jp/araike/torikumi/i\\_construction/bimcim.htm](https://www.ktr.mlit.go.jp/araike/torikumi/i_construction/bimcim.htm)

BIM/CIM の概要 : [http://www.nilim.go.jp/lab/qbg/bimcim/bimcim1stGuide\\_R0109\\_hidaritojiryomen\\_0909.pdf](http://www.nilim.go.jp/lab/qbg/bimcim/bimcim1stGuide_R0109_hidaritojiryomen_0909.pdf)

(出典:国土交通省 BIM/CIM ポータルサイト 初めての BIM/CIM)

### 発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、埼玉県政記者クラブ、  
さいたま市政記者クラブ、さいたま市地方記者クラブ

### 問い合わせ先

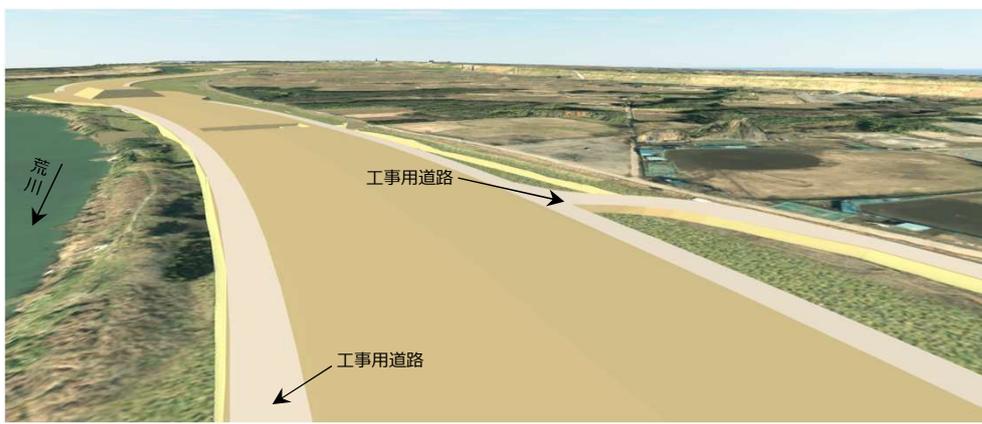
国土交通省 関東地方整備局 荒川調節池工事事務所  
建設DX推進室長 : おおす えいいち 大須 栄一  
調査設計課長 : すずき だいすけ 鈴木 大祐

電話 048-767-6041

# 荒川調節池事業BIM/CIMモデル

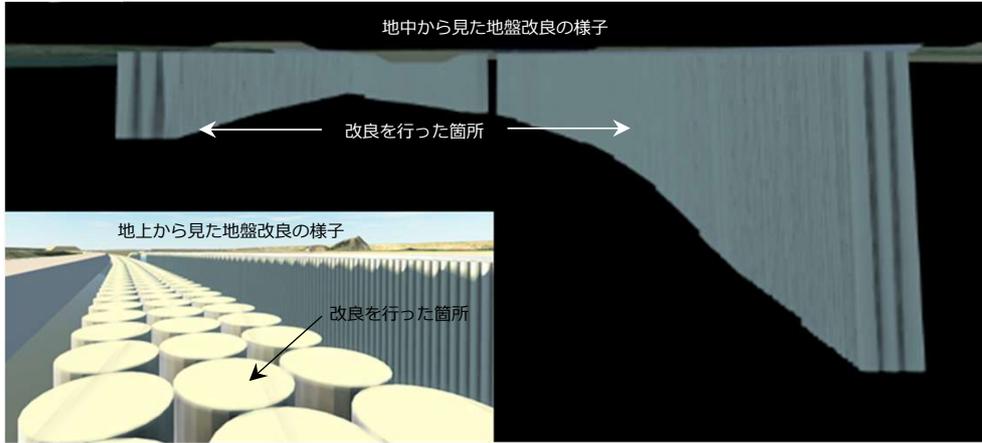
## 施工段階（完成時）を統合

### No.1 囲繞堤整備 工事用道路等の基盤整備工事



堤防を迅速に築造するために、工事車両がスムーズに通れるよう工事用道路を造りました。また、堤防を造るための基盤を整えました。

### No.1 囲繞堤整備 地盤改良工事



堤防の重さで地盤が崩れることを防ぐため、地中の地盤を改良しました。

### No.2 荒川右岸堤（対岸堤） 嵩上げ工事



荒川左岸側に調節池を整備することに合わせて、洪水を安全に流すため、荒川右岸堤を嵩上げています。

※画像は統合モデルをInfraWorksで出力したものです。



## ～荒池DXチャレンジ企画～

3次元データの更なる普及・利活用に向けて、  
公開データの利活用事例と  
今後の利活用アイデアを募集します。

応募はこちらから↓

[https://www.ktr.mlit.go.jp/araike/torikumi/i\\_construction/bimcim\\_bosyuu.htm](https://www.ktr.mlit.go.jp/araike/torikumi/i_construction/bimcim_bosyuu.htm)